



Metro  
Edmonton  
Japanese  
Community  
School

## コミュニティースクールニュース 2007年3月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL  
代表者 清水 聡 (会長代行) 10636-148St, Edmonton, Alberta, T5N3H1 TEL: 452-6093  
借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St  
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

### <会長代行からのメッセージ>

2006年度はいろいろな問題が表面化し大変な一年となりましたが、先生方、後援会の皆様のおかげで、無事、終わることができました。また、本校のさまざまな行事には、先生、保護者をはじめ、大勢のボランティアの方々のご協力がありました。この場を借りて、御礼申し上げます。

また、本年度は財政、教育、学校運営等のことで、後援会の皆様にご心配をおかけした事をお詫び申し上げます。しかし、これらの問題は、物語に例えるなら「起」と「承」で、まだ「転」「結」まで進んでおりません。2007年度では、ぜひこれらの問題について、十分に話し合い、解決に向かいたいと思っております。

2007年度始業式は**4月5日(木)**です。始業式に続いて、6時半より年次総会があります。忘れずに、ご参加ください。もし参加できない場合は、委任状の提出をお願いします。

最後になりましたが、先日の弁論大会で、連絡ミスにより、役員会がお手伝いできなかったことを、ここにお詫びします。

それでは、新年度に、学校でお会いしましょう。

会長代行 清水 聡

### <校長からのメッセージ>

日もずいぶん長くなり、雪解けの中にもう緑色の芝生が顔をのぞかすようになりました。早いもので、今年度ももうすぐ終わろうとしています。生徒にとって、今学期の大きなイベントは、なんといっても学校全体の作品集作りと、高学年の弁論大会だったと思います。

作品集を読むと、生徒たちの考えや感じていることが直に分かりますし、同時に、その成長の度合いを読み取ることもできて、たいへん楽しいものです。今年から、教師は生徒の作品の作文指導と添削をし、その原稿を保護者の方々がまとめて、作品集を完成させるという運びになりました。いろいろなタレントをお持ちの方々工夫を凝らし、これまでとは違った、見るだけでも楽しくなるような作品集を作成中のようです。また、今回はハードコピーではなく、CDで配られると聞いております。23日が発行日ですが、出来上がりが楽しみです。

3月17日には、恒例の弁論大会が行われました。今年は、参加者が15名と多かったため、EJCSA会館を借りて土曜日に行いました。小5から中2の生徒がそれぞれの主張したいことを一生懸命に発表しました。どの発表もユニークで、内容もたいへん興味深かったと思います。生徒にとって自分の考えをまとめ、

人前で発表することはたいへん良い経験になります。そこまでに至るプロセスは、生徒、教師両方にとって決して容易なものではありませんが、生徒達の頑張りをみると、教師もいっそう頑張る気になります。会場には、来年から参加することになる生徒も見学に来ていました。きっと「自分たちも来年やるぞ」と意欲が湧いたのではないのでしょうか。今年で21回目を迎えるこの弁論大会は、本校の誇るべき行事のひとつです。今後も工夫を加えつつ、ぜひ続けて行きたいと思えます。最後になりましたが、大木先生、高橋さん、稲毛さん、大沢先生、審査をしていただき、本当にありがとうございました。

この1年間、学校の生徒たちが無事に、そして、有意義に学習することができたことは、何よりも保護者の皆様のご協力のおかげと、教師一同感謝しております。これから短い春休みを迎えますが、新学期もよろしく願いいたします。

校長 常田いち子

### <校長からのメッセージ2>

2月にお伝えしたように、「本校の組織と運営：今後の展望」について、これから2回に分けて、私見を述べてみたいと思います。私の双子の子どもたちは、3才の時に日本へ戻りましたから、いずれも本校の卒業生ではありません。ですから、私はこの学校では「よそ者」ですが、それゆえに、諸々のことをより客観的に見るができると思っています。その立場から、本校の抱える問題を少し整理してみたいと思えます。今後起こりうる議論のたたき台にさせていただければ幸いです。

#### 《本校は過渡期にある？》

私が本校に関わるようになったのは8年前ですが、当時は、生徒の両親が共に日本人という場合がけっこうありました。ところが最近、国際結婚家庭の割合が急増、今年度は6割以上を占めるようになりました。また、両親共に日本人ではない家庭も増えています。生徒数も現在73名で、今後もプレイスクールから毎年10名くらいが幼稚科へ上がってくるようですから、学校の規模もどんどん大きくなる傾向にあります。保護者の多様化に伴い、子供たちの「日本語力」の差も拡大する傾向にあり、また、保護者の日本語教育に対する意識の多様化も起こっています。

これまで本校は「補習校」という形態を維持してきましたが、今後もそれを堅持できるかどうか心配です。日本語力に大きな差を持つ生徒が同じクラスで学

ぶことは、生徒たちにとっても、教師にとっても好ましいことではありません。特に授業についていけない生徒にとっては、授業が苦痛以外の何物でもありません。その対応のためには、クラスをできるだけ少人数に保つ必要があります。その結果、学校全体の生徒数の増加が、教師数の増加を招き、これが財政難につながる、という矛盾がすでに出てきています。多数の生徒を抱えるクラスを教えるのは、経験のない教師には容易ではありません。補習校として維持していくには、ベテランの先生が必要ですし、同時に、新しい教師を大事に育てていく必要があるでしょう。教師の採用には、外部からの補充が欠かせなくなっていますが、外部からの人は、短期でやめてしまう傾向があり、また、保護者先生も自分の子供が卒業するとやめる人が多いのが現実です。この状況は教育の質の低下にもつながりますので、今後を見据えた解決を考える必要があります。

#### 《本校の組織》

これまで本校では、教師も、運営と経営を行う役員会も、保護者が中心となって担ってきました。財源が限られていましたから、それ以外の選択肢は無かったと思います。しかし、これは「教育を担う組織」としては例外的なものです。一般の学校では、それが日本であれ、カナダであれ、保護者が教師となることは、極めて例外的なことではないでしょうか。これは、教師が生徒に対して公平であるようにという配慮からだと思えます。また、運営と経営は、私立学校の多くで、「第三者機関」がその役割を担っています。これは、教育方針、経営方針の一貫性と公正さを保つための方策です。これに対して、本校では、保護者から成り立つ後援会・役員会が最高決定権を持っています。しかも、役員任期は2年間で、役員が変われば基本方針も変わりかねない構造になっています。会長や役員の仕事は、時には激務となりますから、保護者に2年以上のボランティアワークを強いるのは酷です。ですから、これもやむを得ないことなのでしょう。

では、本校の問題点と特殊性を、多少なりとも解消する方法はあるのでしょうか？この点に関しては、次回で述べさせていただきます。

校長 常田いち子

#### ＜第21回校内日本語弁論大会の報告＞

3月17日土曜日、午後1時より、恒例の弁論大会が開催されました。今年は参加者が15名となったため、再び土曜日にEJCA会館で開催することとなり、参加者とそのご家族のほか、小学四年生や低学年の生徒の保護者の方など大勢の参加をいただき、盛大な弁論大会となりました。

発表者と題名は以下の通りです。

小5 金 力蔵 「ダラダラの日々」  
大場 蒔 「パンダがぜつめつ！」

小6 王 芸容 「私のハイパーハムスター」  
開出 安和 「三ヶ国語の勉強はたいへんだ」  
菊池 光 「宿題」  
ザバルスカ・ズザナ 「私の三大失敗」  
ザン・ジェニー 「二十五歳の私」  
斉 雪婷 「日本の思い出」

中2 植林 あみ 「イライラと感じること」  
植林 ちか 「私が初めて日本語学校に来た時」  
ザバルスカ・マリア 「なくすところまるものベスト5」  
ザン ジム 「力を失ったチャンピオンズ」  
ジェラード・エマ 「労働者不足と手ぬき工事」  
山添 恵太 「LEDのすばらしさ」  
劉 一鳴 「日本語学校での経験」



発表する作文は、冬休みから3月の中ごろにかけて、構想を練り、原稿を書き、推敲していきます。作文が完成したら、授業と家庭で発表の練習をします。このように改まった場で、聴衆の前に立つと緊張してしまうものですが、完全に暗記して堂々と発表した生徒を始め、みな落ち着いて発表ができ、それぞれの個性豊かな弁論は、聞きごたえのあるものでした。

弁論のテーマは今年もバラエティに富んだものでした。日本語学校での体験などを始め、語学の勉強についてのテーマが一番多く取り上げられました。これはカナダで日本語を学んでいる子どもたちにとっては、一番言いたいことがあるテーマのようで、また聞く人にとっても共感を呼ぶものでした。自分の体験、体験から学んだことを語ったものも聴衆にアピールするものでした。また、昨年に引き続き、社会問題や環境問題に目を向けた弁論は説得力がありました。自分の関心を持っていることがらについての発表もあり、関心のあることだけに内容の充実したものでした。

審査は、学外からの大木早苗さんを審査委員長として、後援会代表代理の稲毛章郎さん、保護者代表の高橋健さん、教師代表の大沢雅子先生の4名の構成で行われました。今年度、審査方法を改定しました。担任教師による作文への取組および内容、弁論の練習の評価と、4名の審査員による弁論の内容、話し方の評価点を合わせて、最優秀と優秀の二名を選ぶことになりました。

審査の結果、下記二名が選ばれました。

最優秀賞 中2 ザバルスカ・マリア  
「なくすところまるものベスト5」  
優秀賞 小6 ザバルスカ・ズザナ  
「私の三大失敗」



\*\*\*\*\*

### 大木審査員長にまとめていただいた審査員講評(要約)

日本語の経験や環境、バックグラウンドの違う生徒たち一人一人ががんばってすばらしい発表をしたこと、どの弁論にも新しい興味ある情報が含まれていたこと、文法上の間違いやおかしな表現などのない、きちんとした日本語だったことなどに感心させられました。自分の意見がしっかり述べられている、聞く人の心に響き、考えさせるといふ発展力のあるもの、弁論を暗記して、聞く人とコミュニケーションをとりながら発表したものなどが、特に心に残る弁論でした。また、小学五年、六年生がよくがんばりました。

\*\*\*\*\*

最後になりましたが、お手伝いくださった父母の皆様、いつもありがとうございます。弁論大会は、授業のほかに行われる行事で、生徒本人を始め、保護者教師一同準備が大変ですが、生きた日本語を使う場でもあり、一年間の学習の成果を発表するまたとない機会です。子どもたちが海外で日本語を勉強して、これだけの発表ができるということも多くの方に知っていただきたいと思います。父母の皆様、今後は是非ご参加ください。

弁論大会担当 長倉 由紀子

### <漢字の達人より>

漢字の達人プログラムをはじめて2年が過ぎようとしています。ぞくぞくと「達人」が登場しています。また、11名の生徒が、2006年度「達人特別賞」に選ばれました。

#### 「漢字の達人」おめでとう！（3学期）

2年合格 松本スコット（3年）  
山田花鈴（3年）  
渡辺健太（3年）

3年合格 王 芸容（6年）  
開出 安和（6年）  
大沢まりん（4年）  
陳シェリー（4年）  
清水さら（4年）



#### 「達人特別賞」おめでとう！

5年 金 力蔵（1学期には、すでに4年を合格。ただ一人、漢字の「書き」の達人に挑戦した。）  
5年 大場 蒔（4年合格）  
4年 清水 紗羅（4年を合格）  
4年 大沢まりん（3年合格）  
4年 陳シェリー（3年合格）

3年 松本スコット（2年合格）  
3年 山田花鈴（2年合格）  
3年 渡辺健太（2年合格）  
2年 小林うな（1年合格）  
2年 清水ゆうき（1年合格）  
2年 チャオ アンジェラ（1年合格）

来年もがんばりましょう！

担当 大場 恵子

### <第74回全国書画展覧会参加の結果>

昨年の9月、岡本浩子先生のご指導のもとに、全校生徒が習字の練習をしました。その時の作品を、毎年1月に行われている「全国書画展覧会」に参加するため、日本へ送りました。この度、その結果が届きましたのでお知らせします。

- 小1 金賞 やまもと にこらす
- 銀賞 いなげ みづき、きん かな、  
かわもと さくら、さかぐち かい、  
ロペス みづき、やまだ れな、  
かいで えりか、ヴァン リゅうせい、  
ますだ りんたろう、うえばやし れお  
ふらんきういず じえしか
- 銅賞 もとだ れい、もりた るか、  
マクレーン はな
- 小2 銀賞 こばやし うな、ヴァン ゆうひ、  
チャオ アンジェラ、  
ポプラサート パッター
- 銅賞 しみず ゆうき
- 小3 銅賞 きくち あゆみ、たかはし ゆい、  
やまだ かりん、ウォン ケビン、  
わたなべ けんた、たきた たまお、  
ジャクソン ジャスミン、りい かな  
フェドロウ ゆうこ、松本 スコット
- 小4 銀賞 マギル マイケル、清水 沙羅、  
陳 シェリー
- 銅賞 大沢 真琳、ジャクソン マーカス
- 小5 銀賞 金 力蔵、大場 蒔
- 銅賞 モハビール アマー
- 小6 銀賞 開出 安和
- 銅賞 菊地 光、ザン ジェニー、  
マクレーン 海、ザヴァルスカ ズザナ

中2 銀賞 ザヴァルスカ マリア

銅賞 ジェラード エマ、劉 一鳴、  
植林 アミ、植林 千佳、  
ラムジー アイリーン

日本国内外からなんと70万点近くの参加があったそうです。この学校からもたくさんのお入選者が出て、たいへんうれしく思っています。これからも、習字にいつそう興味を持って、練習に励んで欲しいと思います。なお、金賞以上、上位10万点を掲載した作品集を図書室に置いておきますので、保護者の皆様にも見ていただきたいと思います。

校長 常田いち子

### <図書よりお知らせ>

3月23日(金)は終業式がありますので、7時45分に、図書貸し出しを終了させていただきます。春休みに入るので、たくさん本やビデオを借りてください。(お子様に本を入れる袋を持たせてください。)今年度で日本語学校をおやめになる方は、借りている本やビデオがないかも一度確認して、全て返却してください。また4月5日(木)の始業式の日、新学期準備のため、図書はお休みです。本の返却は翌週4月13日(金)をお願いします。

図書係 清水 理予子



### <2007年度授業料納入のお知らせ>

下記のように2007年度分の授業料と後援会会費を申し込み用紙(3月23日にクラスで配布)に添えて、4月5日(木)に、ダンウォルドまで納入してください。

授業料	年中組(1人)	19ドル×10ヶ月 =190ドル
	その他(1人)	38ドル×10ヶ月 =380ドル
後援会会費	正会員・教師	10ドル/年
	賛助会員	30ドル/年
	成人学生の当番免除費	50ドル/年*
	(*昨年度より\$30の値上げになっています)	

#### 支払い方法(チェック\*\*)

- 一括払い 4月1日付
- 分割3回払い(4・9・12月1日付)
- 分割10回払い(毎月1日付)

\*\*分割払いの方は、チェックにあらかじめ日付を入れた上で、4月に全部まとめて提出してください。

### <図書係の募集>

図書係をされていた清水さんが、2006年度末で図書係をお辞めになることになりました。つきましては、図書係を担当してくださる方を募集します。

時間: 毎週金曜日午後5時45分より8時45分まで

内容: 図書の貸し出し、返本の管理、書庫の管理、及び整理、学習ノート等の販売、教師用教材の管理など。

謝礼: 薄謝進呈

ご興味がある方は清水([satoshi\\_s314@hotmail.com](mailto:satoshi_s314@hotmail.com)/452-6093)、または最寄りの役員までご連絡ください。  
役員会

### <当番の割り当てについて>

2006年度の当番割り当て表を玄関の掲示板に貼り出しましたので、ご覧ください。

現在38家族で、当番を回しています。表を見れば納得いただけると思いますが、皆さまには公平にいただいています。ご了承ください。

毎週金曜日の日本語学校は、皆さまのおかげでつづがなく運営されています。来年度もニュースレターをきちんと読み、自分の当番日を確認するようにしましょう。当番に当たっている方がうっかり忘れるようなことがあれば、その週の学校運営に支障をきたし、他の方にも迷惑をかけることとなります。ご協力よろしくをお願いします。

当番表の作成は、事務係のダンウォルドがあたっています。質問や疑問、もしくは当番日に希望があれば、お知らせください。

事務係 ダンウォルド 節子

### <全カナダ日本語弁論大会のお知らせ>

来る3月31日に、アルバータ大学で、第18回全カナダ日本語弁論大会が開催されます。カナダ各地で行われた地区弁論大会における優勝者がエドモントンに集まり、日本語で弁論を競います。1年未満から3年までの学習歴を持つ日本語学習者が、初級・中級・上級の三つのカテゴリーで、さまざまなトピックについて日本語で弁じてくれるこの大会は、カナダの日本語学習者の日本への深い興味や造詣をうかがい知ることのできる貴重な機会でもあります。ぜひ足をお運びいただきたく、ここにご案内申し上げます。

開催期日： 3月31日(土)  
午後3時30分～7時00分

開催場所： アルバータ大学 教育学部 北棟  
(Education North) 2-115 教室

連絡先： ptjc@ualberta.ca/492-1565

ホームページ： <http://www.ualberta.ca/~ptjc/NJSC>

小林 麗

## <父母のコーナー>

### エドモントン近郊のお勧めスポット

今月は、小1に娘さんのいらっしゃるマクレーンさんから、ダウントウン・エドモントンの、ランチがお勧めなレストランの紹介です。

#### 1) 「Khazana」(インド料理)

10177 - 107 Street

<http://www.khazana.ab.ca/contact.htm>

この「Khazana」は Buffet Lunch をやっていて、本当にたくさんの種類のカレーを堪能できます。バターチキンは最低でも2回はおかわりしないと気がすまない絶品です。しかも、デザートの種類も豊富！マンゴープリン、ライスプリンは甘すぎず、やさしい味でカレーをたらふく食べた後でも、ぺっろっと食べれる代物です。料金は一人\$13くらいだったと思います。もうちょっと高かったかな？でも、価値あり！

#### 2) 「The Sultan Palace Café」(地中海料理)

10171 - 109 Street

ここは最近、私の超お気に入りレストランです。Buffet Lunch ひとり\$10以下でとってもリーズナブル！お料理の種類は他の Buffet Lunch に比べるとちょっと少ないのですが、とにかくどれも美味しい！Lentil Soup は一口食べた瞬間「おいしゅうございます。」と、思わずどこかで聞いたことのあるセリフが出てしまったほど。Falafel やパセリのサラダも絶品！デザートは超薄いパイ生地が何層にもなっていて、春巻きみたいな形をしているヤツ(名前がわからない)も食べ放題！きっと皆さんも「おいしゅうございました。」って言っちゃいますよ。

.....

我が家のお勧めスポットをぜひ紹介したい！という方は、ニュースレター編集担当の小林までご連絡ください。また、私のほうから、お勧めスポットコーナーへの執筆をお願いすることがありましたら、ご協力ください。投稿の締切りは毎月第三金曜日です。

## <「おめでとう！」コーナー>

小学3年2組の担任で、2週間前から産休をとっていらっしやった池田先生が、3月17日、ご出産なさいました。母子ともに健康です。体重3,140グラムの元気な男の子で、「笙(しょう) Liam(リアム)」くんと命名されたそうです。おめでとうございます！

## <「おめでとう！」コーナーへの投稿のお願い>

「おめでとう！コーナー」は、補習校生徒ならびに



会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称えていくコーナーです。コンテストで入賞した、所属しているスポーツチームで著しい活躍を遂げた、などなど、いいニュースを募集しています。自薦・他薦どちらでも結構ですので、小林までお知らせ下さい。

## <ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の小林までご連絡下さい。投稿の締切りは毎月第三金曜日、発行は第四金曜日です。

## <4月の当番>

当番の遅刻がめだっています。パートナーが遅れると、もう一人の当番の人に、大変迷惑です。当番にあっている日は、5時30分までには、学校に来るようにしてください。

3/23(金)	ラムジー、スワロー
4/5(木)	菊地、ラヴォア
4/13(金)	金、高橋
4/20(金)	元田、川本
4/27(金)	開出、増田

当番の変更がありましたら、お早めにダンウォルドまでお知らせ下さい(437-3457)。

